

刊夕日八月七

常磐毎日新聞

定額一ヶ月五拾圓 郵費五圓
 廣告料五拾圓 十二字一拾圓 五拾拾圓
 日曜祭日の翌日休刊
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

宗教とは體驗なり

眞 繼 雲 山

道元禪師が天童山に登らるゝ山中での出來事であつた。

山門の前で八十近い乞食のやうな老僧が、頻りに松茸を干してゐるので、禪師は近寄つて

「まア、御苦勞なことです。あなたのやうな御老人がそのやうなことをせずとも、この山には若い沙門が澤山居りませうものを……」

といふと、その老僧は振りかへつて立ちなほり

「我れはこれ他にあらざ」と答へた。道元禪師この一語を聞いて成る程と契悟する所あり再拜して山を登られたが遂に如淨禪師に就いて大事を究明せられた。

宗教とは、學問でなくして體驗である。冥想ではなくして實行である。成る程誰が松茸を干したにしても乾くといふ結果は同じことだが、茸を干す體驗は老僧が行ふのでなくして老僧の身にあらはれて來ない、老僧は他の沙門では無かつたのである。他人が餅を食うたとして自分の腹はふくれぬい。他人が踊つたからとして自分が踊つた體驗は生れて

來ない。踊る阿呆に見る阿呆 同じ阿呆を踊らにや

どんなに踊りを見物して歸つて來ても踊つたやうな氣持は得られないのが當り前である。

よく宿題を持ち歸つて來た子供が、出來ない爲に母や姉に代つてやつてもらつてゐるのを時折り見受けるが、それは姉の修行には成つても當人の子供に何の交渉もない仕草だ。坊さんにお經を讀んでもらうて後方で聞いてゐるよりも、寧ろ病的に、自ら讀經するに如かぬ。

佛教の肝要は行である。慈悲を説くことでなくしてその慈悲を行ふのである。解脱を考へることではなくして、短的に解脱することである。その行は何を中心にするかといへば、信である、まことである、佛の心を理想とせよである。

暗夜の航海者が北斗星を目標とするやうに、理想はわれわれの最高目標である理想は必ずしもことごとく達成せられるとは限らないが、しかも理想を理想として進むことが、やがて理想を行ふ所以であるやうに佛の心を心として進むところに成佛の正因がある。それは座して考へることではなくして、進みて行ふことである。佛教が机上の研究として終るならば、それは單なる哲學でしかない。

神といふてもよい、佛といふてもよい、自然といふてもよい。その宇宙の大いなる或る力を知り、その力を五尺の肉身に體驗してゆく

文藝募集

くところに宗教の歩みかあり、佛教としての光りがある。大自然の力を認めてもその力と自身との電流が切れてゐるなら、それは宗教から見放された無縁の箇体に過ぎない。

婆羅門教の非想非々想怨と、佛教究意の思想とは、相距る僅かに一步であつたが、やがてそれは千里の差を生じたやうに、哲學と宗教とは垣一重である。行なき宗教は哲學に終る宗教とは體驗である。

市原醫院

平町 田町 電話一四四番

外科 X 光線科 性病科 科

安齊外科醫院 電話四七五番

御料鹽豚

田町 三二二三屋 電話三二三番

川本 本場新茶入荷

一斤に付、四〇より 一、〇〇まで
 斤 六〇 四半斤 一五錢
 斤 四〇 〃 一〇錢

御家庭用 京清水焼 御前茶器 番茶器 組三〇錢、在荷豊富

香味本位の本場銘茶を召上りませう。

電三九六番 大勝園

三井

タクシー

電話六八五番

齒科 東京醫學士 中村文一 平町鍛冶町 吉田吳服店西隣

漆器は共專門が

品質の正確と!!! 値段の破格と!!! 在庫品豊富と!!! 懸命の奉仕は!!! 弊店のモットー!!!

丸共榮漆器店

各國産漆器 専門卸小賣 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り) 記念表彰品 進物贈答品 恩賜賞與品 賞品景品類 御注文應調製 ◎店員募集(十三才より二十三才まで)

平町田町通電話六五六番

正札堂の……夏服

黒セルセビロ上下 六圓ヨリ
 パンピースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ
 ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ
 ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢
 白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店

電話四三六

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八八番

年に六千石を... 麥增收の計劃

農事協議會の腹案

昨報政府案に依る小麥増殖の五ヶ年計劃に就き石城農事協議會で當日縣より指令に基き具体的な決定を見る筈であるが大体現在郡下の小麥は田、畑地等百五十町餘歩より年千石の收穫を見て居るのを今回の増殖案に依ると畑四百五十二町歩、田百五十六町歩餘、計六百八町歩の土地開拓を行ひ年

兩親を再教育せよ

杉本講師來平活動

雑誌「いとし兒」を發行する日本兩親再教育協會講師杉本春喜氏は讀者訪問の爲め全國を巡回中であるが昨夕七時四十分來平十日迄本社長宅に滞在、みのり會藤田女學校、信榮幼稚園母の會其他にて講演を爲し郡山に向ふ筈

米共販賣

出荷四百俵

石城郡勿來町農會の共同販賣は去る五日同所にて行はれ四等四十六俵、五等百二十俵、等外百八十俵、計三百四十六俵を入札せる結果四等建値八圓三十六錢を以つて勿來町の赤津常作氏に落札された

排水工事

寄附取纏協議

平町役場では過般より一丁目、二丁目、田町、地内の排水工事費のうち地元三區民よりの寄附額二千五百圓が一向纏らぬため工事の進行に支障があつてはと、寄附金採納督勵の爲め九月九日午後五時より三區内の區長町議、有志等を招集打合せ會を行ふ事となつた

中堅青年移動講習

磯原まで行軍露營

第十四回石城郡中堅青年移動講習會は今夏八月三日より六日迄三泊四日間平湯大津磯原の三ヶ所で行ふことに決したが行軍露營の豫定と指導員及び講師は左の如くである

悪い木炭の亂賣

濱三組合対策

濱三郡木炭同業組合では最近福島及び田村の各地方より無検査の粗悪品が移入され廉價を以つて取引されてゐるので組合員の製品に非常な打撃を受けて居るので同組合では是が対策として來る十二日原ノ町十三日は夜ノ森の各支部長方で最寄各組合員と検査木炭移出に就いて打合せ會を行ふと

濱三郡の木炭

月に一萬俵の激減

不況からの出炭制限

濱三郡木炭業同組合の去月中に於ける出炭成績は合計七万二千二百五十五俵で石城が三万四千八百三十二俵、双葉が三万二千八百八十俵、相馬が七千五百十俵となつて居るが昨年同期の八万五千十俵に比較すると九千七

印紙定期検査

平管内の日割

平稅務署にて本年度に於ける印紙税の定期集會の検査として昭和六年八月以降に製作された各種證書及び諸帳簿類の検査を左記日割にて行ふと

幼稚園 平町材木母の會 町信榮幼稚園にては明九日午後一時より母の會を開き醫學博士石山謙朗氏の衛生講演あり尚ほ日本兩親再教育協會講師杉本春喜氏の來平を好機として幼児教育に關する講演を乞ふ事になつて居る

野、草野、平窪、好間、赤井
郡下青年團
体育大會
八月中に舉行
石城郡下各青年團對抗体育大會は今夏八月二十一日午前九時より磐中グラウンドに於て舉行すると

濱三木炭視察

既報濱三郡木炭同業組合の事業視察は各方面から詰めかけ係員は是が應接に忙殺せられて居る先來る十二三日の兩日は栃木縣大田原町の野洲北部木炭同業組合員十名が視察に來る事になつた

女流俳人(水明)

長谷川かな女史

來る二七日頃來平

石炭の大特賣

塊炭 正味十貫目 金貳拾錢
『品が良ク』『値が安ク』
『目方ハ正確』デス
トニカク一度...
使ッテ見テ下サイ

御注文ハ

電話三七番

阿部石炭商店

井坂醫院

科婦科外
町田町平
番九五五話電

美味!
芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

木村科醫院

平町五丁目橋際
電話三〇九

縣下大會を目標に 磐中健兒勇躍 出場選手も決定

出場選手も決定

磐城中等學校競技部にては今夏八月一日喜多方中等學校グラウンドに於て舉行される縣下中等學校体育大會の出場選手を左の如く決定し目下必勝を期し猛練習中であるが去る三日双葉中等學校との對抗戦績より見て今年は優勝確實と見られてゐる

- △五千米 鈴木吾平 金子忠
- △走巾跳 鈴木忠 吉田清秋
- △走高跳 鈴木忠 新妻留雄
- △三段跳 砂田實 白土丑之助
- △棒高跳 松下瀧 白土丑之助
- △八百リレー 箱崎 白土 金成 藁谷弘

子を背負つて 母一人心中

母一人心中

生活苦の精神異状

石城郡湯本町字傾城居住運搬夫定藏の妻黒澤イチ(三)は本年四月頃より精神に異常を來したので室内に監視して居るうち去る五日夜、女ミヨ(三)を背負ひ行衛を晦したので大騒となつて家人が捜査して居るうち同夜八時頃自宅より百間餘を離れた山林内で子供の泣聲がするので尋ねた處イチは子供を背負つた儘絶死を遂げて居るのを發見した

横着運轉手

略式罰金刑に

石城郡小名濱町字竹町二十番地小磯賢一郎方自動車運轉手阿部正勝(三)は本年五月二十四日午前十一時三十分頃貨物自動車運轉し双葉郡廣野村大字下淺見川

字折返地(一)道を疾走中道路に於て遊戯中の佐伯シゲ(六)に衝突し右下腿上内側部に全治迄約二週間を要する創傷を與へ業務上過失傷害として罰金三十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

洋服屋に大工さん

平一校の志望調べ

平第一小學校にては此程尋常科第六學年生以上四百二十四名の生徒に對し各々志望職業を調査したところ洋服屋、大工さん等が一番多く中には水夫、豆腐屋さん等もあり時潮を雄辯に物語つてゐる

- 洋服屋一九 大工一四
- 蒔繪師一 鐵道員九 印刷

妻殺し 實地 檢證

判檢事けふ四倉へ

石城郡四倉町字仲沼沼田はな(三)婿養子同郡大野村大字戸田字訪誠生れ吉田重男(三)が去る五月二十日別れ話から憤慨し同人内縁の妻沼田さみ(三)を鐵棒を揮つて毆打し死に至らしめ養母はなを殺害せんとして果さなかつた殺人及殺人未遂事件に付本日藤原豫審判事及



今夜は南よりの風小規模様明日は南西の風曇りありませす

角之進「筑波雲」
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部
前九、一〇 料理献立「鯛の蒸焼」菊地貞子
前一〇、三〇 婦人講座「火術の由来」終 東京帝大助教理學博士西澤勇志智
後〇、〇五 獨唱と管絃樂獨唱二村定一 コロナオケストラ 指揮篠原正雄
後二、〇〇 家庭大學講座

「華曲」二四 實演解説宮城道雄 唄牧瀨數江
後六、〇〇 子供の時間
お話「スウイスの獨立戦争」文學博士村川堅固
後六、二五 コドモの新聞村岡花子
後六、二五 カレントトピックス ハロルドパーマー

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
童謡と唱歌 東京市内小學校児童
後六、二〇 コドモの新聞村岡花子
後六、二五 カレントトピックス ハロルドパーマー

後七、三〇 講演「ラヂオ氣象通報の利用」東北帝大教授理學博士中村左工門太郎
後八、〇〇 祭禮離子解説 國幣中社伊佐須美神社宮司渡邊慶次
後八、三〇 落語「東西夫婦」柳家金語樓
後九、〇〇 浪花節「柳田

六月慢性復膜炎で同村の石川醫師の手當を受けた住所不定本籍不詳の根坂良藏と云ふ労働者と判明引取人がないので村役場に引取られた

馬具職、六〇、三〇
車製造一、〇〇、六〇
鑄物工一、六〇、一〇
鍛冶職一、四〇、一〇
綿打職一、二〇、一〇
桶職一、〇〇、六〇
酒造三、五〇、二、五〇
醬油造三、〇〇、二、〇〇
人夫、八〇、四〇
活版植字一、二〇、六〇

平職業紹介所報告
回求人部の部
△兒守 十四才迄 尋卒
仕着小使(平町某)
△酒屋店員 十八才迄 高卒
給料面談(夏井村某)
△兒守 五十才迄 尋卒
月五圓(平町某)
回求職の部
△雜夫 四十八才 高卒
給料面談(内郷村某)
△事務員 四十四才 中卒
給料面談(豊岡村某)
△外交員 二十七才 高卒
給料面談(内郷村某)

地代の未拂に 麥を刈り取る

好間で女同志の紛糾

石城郡好間村字上好間金成リタ(三)は去月廿三日自分の借地人宇上野原三上カネが地代を拂はぬので三上の麥畑より時價三十餘圓に相當する麥を勝手に獲つたので平署で取調を受けた

平町の勞銀

町役場調査

平町役場の調査した現在の各種勞銀左の如し

種目	最高	最低
農作日雇	八〇	四五
塗師	六〇	三〇
鋸職	一〇〇	六〇
靴職	八〇	四〇
染物職	六〇	三〇
和服仕立	六〇	三〇
洋服	九〇	五五
木挽	二〇	八〇
大工	二〇	八〇
左官	二〇	八〇
瓦葺職	一、五〇	一、〇〇
家根職	一、五〇	一、〇〇
指物職	九〇	五〇
理髮職	一、〇〇	六〇
壘刺職	一、〇〇	六〇
煉瓦積	二、〇〇	一、五〇
建具職	九〇	五〇
石工	一、五〇	一、二〇
植木職	一、五〇	一、〇〇
菓子職	六〇	三〇
下駄職	六〇	三〇
靴職	八〇	四〇

平町役場の調査した現在の各種勞銀左の如し

幕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演
近藤 紫雲畫

第九十六席 真庭念流達人櫻井五助

兵右衛門が苦情

林藏は角一より座中の人々を紹介されて

林「御丁寧な御挨拶。就ては岩手の親分初め皆様に聞いて頂きたい事がございませぬ、それは今日の喧嘩に就て誠に差出がましき事でございませぬが林藏わざと出ました譯、と申すは上州藤岡の慶助どんの若い者藤太郎が角一親分の兄弟分雨笠の幸次を斬つて國越をいたしました今度又し振りて故郷上州に歸るに就き當所に開く賭場を見物して行きたいとこれへ参りまして角一親分の賭場に立入り亂暴を働きました由、それが爲に親分が御立腹になつて藤岡の慶助どんが一應此方に話もなく雨笠の幸次を斬つた藤太郎を手許に差置は甲州一圓の俠客を踏付けにした仕方だと云ふ處より喧嘩状をお付けになりましたと承はりましたか、それに相違ございませぬか」

林「お腹立の段々御尤も至極、然し御存知の通りこの三日間は關東の俠客は勿論關西の親分方もこれ」



りまして盆を敷いて居ります、従つて當所の商人はこれ三日間が一年中の書き入れ日、茲に喧嘩が出来ますと堅氣の者が誠に迷惑を致します、何うぞそれらをお察し下さつてこの喧嘩は林

の林藏はまだ三十にはなるまいが若いに似合ぬ好い度胸だ、氣の立つてゐるこの中へ唯一人で来て仲人をする、その口上に茲で喧嘩が出来ては一年の暮しを三日で取ると云ふ商人は非常に迷惑をする堅氣に何の科があるか云はぬばかり、茲は林藏の男を立て任して遣らうかと思つたが、他の者より苦情が出ると面倒、ハテどうしたものかと並んでゐる兄弟分を見渡した、その時廣澤の兵右衛門が兵「岩手の、お前は任す氣か知れぬえが俺は任す事は

藏にお任せ下さる事にはなりませんまいか、決してお顔の汚れるやうな事はいたしません、お任せ下さる事にはなりませんまいか」

と云つたは兄弟分の高萩の猪之松がこの林藏に殺されてゐる、それを含んで喧嘩は任せることは出来ぬ、仲人は不承知だといふ、角一はこれを聞いて成程林藏には猪之松を斬つた怨みもあらうが、然しそれは跡で

何とでも仕返しの出来ること、茲でそれを持出すには及ぶまいと思つたけれども一人でも不服の者があつてはこの喧嘩を林藏に遣る譯にはならぬと角一は考へてゐる、林藏これを見てこいつは纏りさうも無え、貰つて来ますと秋山先生に受合つて来て先方で任して呉れませんと云つては歸れない尤も死ぬ覺悟で此處へ出て来た上は、此奴等を相手に斬死しようと思つた決心してズイと膝を進め、ヌツと云へば眞二つと脇差に左の手を掛けて引寄せ

林「岩手の親分、お任せ下さる事にはなりませんか」と云ひつゝ角一の顔を熟と見た途端に、ツツと云ふ人聲

○「林藏が来たさうだ、親分の敵を殺してしまへ」と云ひながら此處へ入つて来たは三四十人、これは皆猪之松の子分、今度の賭場に就つてこの甲州に來たもの、角一はこれを見ると角「静かにしろ、騒ぐな、林藏どんに笑はれる、静かにしろ」

鶴の一聲、この騒ぎは鎮まつた、林藏はその様子をみて、どうしても俺の命は此處へすてると極つた、この喧嘩を任してくれぬ處で猪之松の兄弟分や子分の者が俺を助けては歸すまい、モウこれまでといふ、度胸が据つた、處へバタ／＼足音高く此處へ駆け來たは秋山要介、劍術の稽古着に白小倉の袴を穿ち、朱鞘の

大小を腰に帯び、晒木綿の後鉢巻、門人の岸丈右衛門を伴れて林藏の後に來たが要「どうした林藏この喧嘩は貰つたか」林「これは先生、最前より岩手の親分に種々申上げました處、親分はどうやらお任せ下さる様な様に見えませんが」とデロリと兵右衛門を見ました。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性病

林病 十二指 腸虫病

院醫科 腸性病 胃性病 村松

七〇一話電三南平

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

時計眼鏡 トキワヤ 平一電三三九

夏の御調髪は是非どうぞ……

明るい感じ！清々しく 電氣バリカンの爽快な刈込み 氣持よいシヤンパー電氣アイロン 電氣マツサイチの上品な仕上げ □キツト皆様の御氣に召すで御座います。そして…… 御上品にと心を籠めてお刈する當理髮舗の優秀なる御調髪をぜひ一度御試め下さい。

石崎理髮店 平町(電話一八八番)

食堂部近日開店

今般食堂部を加設致しました 洋食一般出前致します 何卒御用命下さる様御願ひ致します

福榮亭 (番五二三電)町田平

内科・小兒科・花柳病科 藤沼醫院 入院需應 電話五〇七番

高久病院

院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 平町田町 電話五一三番